

ヒロシマはどう伝えうるか

原爆・平和報道の過去・現在・未来

日本ジャーナリスト会議広島支部（J C J 広島）主催「ジャーナリストのためのヒロシマ基礎講座」

2008年7月12日（土） 広島市まちづくり市民交流プラザ

I ヒロシマ教育の現場から

1987.7.11 広島平和文化センター主催留学生平和セミナー（第1回）

「被爆の社会的影響について」<1987.10.2 国連軍縮フェローシップへの講演>
私もかかわる。90年頃からいつも平和文化センター理事長と私が攻撃対象。

1990年度～「戦争と平和に関する総合的考察」

1991年度受講生（日本人・女） 資料）1992年度受講生（中国人）

1990年年11月、アメリカの大学での講演＝石原慎太郎の南京虐殺否定発言、フセインとヒロヒトの同一視

<2003年8月1日14万羽の折り鶴焼失>関西学院大学学生との合同授業 2004年～。

* 県外学生のヒロシマに関する知識の欠如＝県外での平和教育の衰退

広島女学院大学前期科目「ヒロシマ」 2005年～。

* 女学院学生の被爆3世の自覚の欠如＝家庭の継承機能の衰退

資料1＝実践例

他の教育現場の状況

ピース・ボランティア（1999年～）、ピースクラブ、ピースフォーラム

「広島・長崎講座」（2002年～）＝平和教育の対象が高校生から大学生へ。

2007年 明治大学軍縮平和研究所など主催「被爆者の声をうけつぐ映画祭」

広島大学の平和教育＝広島を中心に据えなかった。2009年度から必須科目で原爆資料館・大和ミュージアム・旧海軍兵学校教育参考館（江田島）・大久野島毒ガス資料館・ホロコースト記念館。

笠井綾（表現アーツセラピスト）「日曜エッセー 被爆継承 言葉を超え六感で」（中国新聞 2008年3月16日）

II 歴史化するヒロシマ

原爆医療・医学分野での進展

原爆傷害調査委員会（ABCC）→1975年4月1日 放射線影響研究所

2008年6月、被爆者の死因を追跡する寿命調査（LSS）などを少なくとも今後25年継続するとの計画

* 広島県に居住する被爆者数（広島大学広報委員会『学内通信』No.242）

昭和55（1980）年 17万9000人→昭和80（2005）年 8万2000人（推定）

* IPPNW＝核戦争防止国際医師会議。1980年に発足。1985年にノーベル平和賞を受賞

* 湯崎（84.6.11）、内田（91.3.5）、志水（91.7.26）、秦野（92.4.17）死亡。

91.7.26・・・ヒロシマの枠組みは存在するものの、その良質の精神（たとえば志水清や藤居平一に体现されていた）は、次第に失われている。現在の「被爆体験の継承」というスタイルで本当の継承ができるのか。必要なのは、「継承」というより「構築」ではないか・・・

* 原爆訴訟との関連

「被爆者運動」の担い手が、遺族から動員学徒に移行

戦前の軍国主義と戦後の初々しい民主主義の体験者

伊東壮＝旧制県立広島一中 3 年の時に被爆。山梨大学学長(1992-98 年)のほか、日本原水爆被害者団体協議会代表委員(1981-2000 年)などを歴任した。

平山郁夫＝旧制広島修道中学 (3 年在学中、勤労働員されていた広島市内陸軍兵器補給廠で被災。この被爆経験が後の「文化財赤十字」活動などの原点となる。『広島生変図』(1979) (広島県立美術館蔵)

原水爆禁止運動への偏見

古くさいというムード＝冷戦終結後顕著。飢餓・貧困・環境問題・民族問題・宗教紛争

弓削達 (「歴史的現在をどう生きるか」岩波ブックレット NO.276、1992 年 11 月)

「厭戦的な平和運動」・「被害者意識的な厭戦平和主義」

川島孝郎 (石田明、空辰男)、深川宗俊、藤居平一、

長田新、(斉藤)、森戸辰男、今堀誠二、森滝市郎、佐久間澄、大牟田稔、平岡敬、

資料2)今堀誠二著『原水爆時代—現代史の証言(上)(下)』目次

原爆資料館への学芸員の配置 広島市 1995 年～、長崎市 2009 年予定

1996 年 原爆ドームの世界遺産化

広島平和記念資料館 重要文化財、広島平和記念公園 国名勝 2007 年 2 月

長崎の平和公園 登録記念物 2008 年 5 月?

2008 年 3 月 29 日 NHK テレビ『探検ロマン世界遺産 SP』

「記憶の遺産」＝人類が忘れてはならない記憶の場所

2008 年 6 月 島根県雲南市三刀屋町の市永井隆記念館敷地内に如己堂

Ⅲ 戦艦大和ブームとヒロシマ

資料3)日本表象文化史(第 12 回)2008 年 1 月 21 日資料

朝日新聞の取材に注目

Ⅳ 最近の原爆報道

空白の 10 年＝県被団協の結成、12 年＝医療法、1970 年代後半＝国政課題としての被爆者問題

空白の 3 年＝48 08? 夏、丸木位里・赤松俊子、「原爆の図」の製作に着手。

丸木俊『女絵かきの誕生—原爆を描いた愛の自叙伝』(朝日新聞社、1977 年)

ヒロシマの誇り原爆ドーム、久間防衛大臣の発言、岡本太郎『明日の神話』、一本の鉛筆

2011 年度から完全実施される小学校社会科の新学生指導要領の解説書

福田首相のオリンピック開会式参加と長崎平和式典参列。

資料4)最近の原爆報道より

朝日新聞連載 「聞きたかったこと 被爆から 63 年」2008 年 4 月 2 日～

2008 年 5 月 31 日 第 8 回東京空襲犠牲者遺族会総会。2000 年に結成。2006 年に訴訟を提起。

2008 年 6 月 22 日 「殉国之塔」(旧呉海軍工廠への空襲で死亡した女子挺身隊らを祀る)の移設と慰霊祭

2008 年 7 月 9 日 広島市原爆供養塔の納骨名簿(823 体分)の公開

Ⅴ 未来へ

*あふれる原爆情報のガイド役＝原爆情報リテラシー

1988 年 9 月 2 日 中国地区データベース推進協議会・標準化部会。中国電力本社。

*被爆体験継承のための FD (Faculty Development)

浅井基文<広島に聞く・広島を聞く>広島平和研究所ニューズレター 2006 年 3 月号～

舟橋喜恵、平岡敬、坪井直、李実根、鎌田七男、中沢啓治、金子一士(森滝健一郎、浅井)